

会員並びにご家族様

平素は支部活動に対してご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます、第49回友呂岐会の内容をご案内致します。今回はNHKで放映をされておりますドラマの【平清盛歴史巡り】を中心に、昼食は地上110mビュッフェで和・洋・中のバイキング料理を港風景を見ながら楽しんで頂きたいと思っております。又モザイクガーデンでのショッピングも楽しい一時を過ごして頂けるかと思っております、ご家族ご友人お誘いの上ご参加下さいます様に宜しく申し上げます。(今回からトイレ付きバスをご用意致しました)

(記)

- <日 時> 平成 24年 5月 24日 (木 曜 日) ※ 雨 天 決 行 し ま す
- <集合場所> 寝 屋 川 市 八 坂 公 民 館 前 (1号線方面行き車線側)
- <集合・出発時間> 8時30分 (時 間 厳 守) 8時45分 出 発
- <日 程> 9時45分 ~ 11時40分 清盛歴史巡り(清盛塚・兵庫大仏・歴史館)
- 12時00分 ~ 13時00分 地上110mのスカイビュッフェでバイキング食事
- 13時10分 ~ 13時50分 平清盛ドラマ館見学
- 14時00分 ~ 15時00分 モザイクガーデン見学ショッピング
- 15時30分 ~ 16時30分 甲南漬資料館(見学・試食・買物)
- 17時30分頃 八 坂 公 民 館 前 到 着 予 定
- <参加費用> 5,000 円 (昼食費は含みます)
- <申込方法> 別途御案内のように郵便局振込口座へ必要事項記入の上
払い込みをお願いいたします。
- <申込締切> 2012年 5月 10日 (木 曜 日) 先着80名で締め切ります。
- <取消し日> 2012年 5月15日 (火 曜 日) 以降は参加費の返金は致しません。
- <問い合わせ> 各 地 区 委 員 に お 願 い し ま す。

友呂岐会世話役	山 元 隆 司	(TEL/FAX)
	鈴 木 欣 也	(TEL/FAX)
	小 山 昇	(TEL/FAX)
	池 田 眞 也	(TEL/FAX)
	上 山 秀 夫	(TEL/FAX)
	西 山 秀 美	(TEL/FAX)



中西支部長挨拶

第49回

友呂岐会

清盛塚 ☐ 兵庫大仏 ☐ スカイビューツフェ
(昼食) ☐ 平清盛ドラマ館
☐ モザイクガーデン ☐ 甲南漬資料館



平家の家紋

2012年5月24日



皆さん早い集合です



清盛塚を見学



兵庫大仏

KOBEde清盛 歴史館



1号車集合写真



2号車集合写真



スカイビュッフェでバイキング



モザイクガーデン散策



甲南漬資料館でお土産購入



ドラマ館で1号車集合写真



甲南漬資料館で2号車集合写真

第49回友呂岐会

支部のイベント行事で有ります第49回友呂岐会が、好天の中5月24日開催されました。

今回は「平清盛歴史巡り」と題して実施。当日はバス二台で兵庫県に有ります平清盛の史跡・イベント会場に向けて定刻出発。最初の目的地清盛塚に着きました。清盛塚は北条貞時が清盛を弔う為に建立したと伝えられます。

次の目的地、能福寺(兵庫大仏寺)へは徒歩で移動。能福寺は清盛が剃髪し出家した寺院です。又境内に有りました「兵庫大仏」は日本三大大仏の一つで有り全員兵庫県に大仏様が有る事にびっくりしました。



能福寺(兵庫大仏寺)

次の目的地「平清盛歴史史館」では、清盛の歴史を学びました。

当日のメインでも有ります「スカイビュッフェ」での食事会。この「スカイビュッフェ」は地上110mの処に有り「和・中・洋」のバイキングの食事処です。全員が窓際の「絶景かなあ〜」場所で食事を堪能しました。



地上 110m の絶景昼食

食事後は四番目の目的地「平清盛ドラマ館」です。ドラマ館では当時の背景・エピソードを五つのゾーンに区分して展示をされていました。



甲南漬資料館での買物

最終目的地は武庫の郷「甲南漬資料館」見学と試食です。皆様見学案内は程々に試食・買物を堪能。皆様方満足をされる中、定刻に無事帰着出来ました。

第二二五回史跡巡り

第125回史跡巡りは

4月5日(木)京阪御殿山駅前集合し、初参加者4名や子供2名を含め総勢47名の多数の参加者で「枚方市内パート11」へと出発した。コースは約4kmで駅前から旧国道1号線の三栗交差点にでた後、(株)コマツ大阪工場の周辺部を西側から北側・東部へと時計回りに移動した。

神社仏閣や伝承地、墓碑や古墳や平和のモニュメント等の14史跡を巡った。特に平和のモニュメントは昭和14年に大爆発した旧陸軍工場の所で、解体された柱・梁の一部が展示されていたのが印象深かった。又、牧野車塚古墳は大正時代に指定された国の史跡で周辺一帯は公園

化され憩いの場にもなっていた。



清傳寺 菊と桐の家紋

今回訪れた仏閣の内、清傳寺、西福寺、法音寺の三寺院では本堂に上げていただいた上、ご住職より由緒や本堂内の特徴等を詳しくご説明を受け、いつもと少し趣が違う史跡めぐりとなった。



杉ヶ本神社境内

満開の桜の下での散策や昼食を期待して、3月下旬から4月初旬へ開催日を変更して二年。今年は気候変動の影響で、桜風景よりも会話で盛り上がった春の一日でした。前々日の台風並み爆弾低

気圧の影響が残ったが、午後から時雨の予報ははばずれて穏やかな好天での史跡巡りとなった。晴れ男・晴れ女に感謝です。

史跡巡り裏話

久貝正俊公の殿様墓

大坂城は、豊臣から徳川の江戸時代となり、徳川支配となった。江戸の南北町奉行のように大坂では東西町奉行で治められるようになった。東町奉行は、旗本の久貝因幡守正俊が任命され、初代東町奉行となった。退役後河州交野郡を配領された。この地は、荒野であるが河内と山城の国境で、交通の要所であり古来から戦略上の要地であった。

ここに陣屋を立てると決心した久貝正俊は村おこしが必要と思ひ、家来の細谷善兵衛に命じた。13戸の八田広の村民や、近隣の村民を集めて、現在の長尾周辺の荒野山林を開拓し、畑や新田を造った。開墾地は良い土壌で、穀物の増収がありこの丘陵は「福

をもらす岡」とのことから「福岡村」と名付けられたと伝えられている。正俊公は正保5年(1648)2月2日病没した。長男の正世は、亡父を弔い「殿様墓」を建立した。



殿様墓 現・堂山東町8

正世は、父の事業を引き継ぎ村民と共に順調に進んだ。貞享3年(1686)長尾村と改称された。元禄2年(1689)には、瑠璃光寺の東方に陣屋が設置され、久貝家知行支配の中枢となった。開発を担当した細谷善兵衛は、福岡村の代官を努めたが、寛文6年(1666)没した。正世は父の正俊を弔うために慶安2年(1649)「正俊寺」を創建した。細谷善兵衛の墓も、後にここに弔われている。今回から史跡巡り裏話として引続き3班清水良祐さんに連載頂きます。